

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧(こども未来局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	20101010	地域子育て支援事業	その他	地域の中で、親子で遊べる場づくりを推進するとともに、互いに支え合う子育て援助活動を促進するなど子育てに不安を感じる家庭への相談・支援体制づくりを進めます。	●地域子育て支援センターの情報発信を強化。職員向け研修(オンライン)を2回実施 ●保育・子育て総合支援センターにおいて利用者支援事業を実施。母子保健との連携について、様式等を整備。 ●子育てヘルパー会員登録研修会を年4回開催。ふれあい子育てサポート事業の利用促進の取組を実施 ●乳幼児健診等において、来所する乳幼児及び保護者の支援や見守りを実施(参加者数1,586人) ●「かわさき子育てガイドブック」や「かわさき子育てアプリ」等により子育てに関する効果的な情報発信を実施	412,100	385,438	3	P2
2	20101020	小児医療費助成事業	補助・助成金	子育て家庭に対して医療費の一部を助成することにより、その健全な育成を図り、小児保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図ります。	令和5年9月に、通院助成対象年齢を中学3年生まで拡大し、所得制限を撤廃することで制度拡充を図り、対象者への医療費助成を適正に実施。(183,005人)	5,347,063	5,760,885	3	P4
3	20101040	児童福祉施設等の指導・監査	許認可等	施設の増加や多様な運営主体の参画が進む中でも、安定的かつ継続的な法人・施設運営などの質の確保に向け、適切な指導・監査を実施します。	●児童福祉施設及び運営法人等に対する指導・監査を実施(588件) ●幼稚園型認定こども園・幼稚園における、子ども・子育て支援法上の指導監査を実施(33件) ●社会福祉法人設立認可及び定款変更認可業務を執行(3件) ●人材育成を目的とした会計研修等を実施(5回)	36,459	36,247	3	P8
4	20101045	子ども・若者未来応援事業	その他	子ども・若者及び子育て支援を総合的かつ効果的に推進するための計画を策定し、計画に基づく取組を着実に推進するとともに、「子ども・若者応援基金」を活用し、本市の子ども・若者が、さまざまな分野において活躍する人材をめざして挑戦することを後押しする事業を実施します。	●「第2期川崎市子ども・若者の未来応援プラン」に基づく取組を推進及び「川崎市子ども・若者の未来応援プラン」の点検・評価の実施 ●オンラインプログラム「Stanford e-Kawasaki」(参加人数20名)及び「かわさきジュニアベンチャースクール」(参加人数55名)の実施 ●子どもの意見を聴くくみとして、令和5年9月から「子ども・若者の“声”募集箱」を本格実施(寄せられた意見:401件)	37,836	24,780	3	P10
5	20102010	待機児童対策事業	その他	就労しながら子育てを行う家庭の増加による保育需要に対応するため、待機児童対策を継続して推進します。	●こども家庭庁の定める「保育所等利用待機児童数調査要領」に基づき集計した、翌年度4月1日時点の待機児童数0人(目標0人) ●保留通知発送後の約1週間、平日夜間・土曜日に区役所に相談窓口を開設し、保育所入所相談等を実施(利用者:39人) ●翌年度4月の横浜保育室を利用する川崎市民7人(目標29人)	180,172	156,029	3	P12
6	20102020	認可保育所等整備事業	補助・助成金	保育ニーズに適切に対応するため、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、認可保育所等を整備することで、保育受入枠を確保します。	●翌年度4月の定員数確保に向け、認可保育所等を整備(定員増240人※目標848人)	1,716,337	921,973	4	P14
7	20102030	民間保育所運営事業	施設の管理・運営	民間保育所・地域型保育事業における適正な運営の確保と保育の質の維持・向上に向けた支援及び指導を行います。	●一時保育事業実施園数を確保(86か所※目標86か所) ●国の処遇改善等加算の適切な執行に向け、キャリアアップ研修を実施するなど、運営を支援	65,297,229	64,467,089	3	P16

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
8	20102040	公立保育所運営事業	施設の管理・運営	保育・子育て総合支援センターと公立保育所が連携し、「地域の子ども・子育て支援」、「民間保育所等への支援及び公民保育所人材育成」、「多様な保育ニーズに対応する保育所機能の強化」を推進します。	●公立保育所の建替え(保育・子育て総合支援センターの整備を含む。)に向けて、設計、工事等を実施 ●各公立保育所の補修・修繕工事を実施 ●令和5年10月、宮前区保育・子育て総合支援センターを開設 ●公民保育所職員研修を実施(参加者数R4:12,843人、R5:13,810人) ●保育・子育て総合支援センター及び公立保育所において、医療的ケア児保育を実施 ●一時預かり事業を川崎区、中原区及び宮前区保育・子育て総合支援センターで実施(利用者延べR4:3,744人、R5:4,707人)	3,098,490	2,355,151	3	P18
9	20102050	認可外保育施設等支援事業	施設の管理・運営	継続的な待機児童解消に向けて多様な保育ニーズに対応するため、保育の質の向上を図りながら認可化及び小規模保育事業への移行を円滑に推進するとともに、認可外保育施設等への支援を継続することにより、安定的な保育受入枠の確保を図ります。また、認可外保育施設への立入調査や施設等利用給付費の確認指導監査を継続実施することで、保育の質の向上等を図ります。	●川崎認定保育園利用者への保育料補助を実施(助成児童数:2,554人) ●川崎認定保育園児童受入を促進(受入児童数:1,729人) ●川崎認定保育園(4園)を認可保育所及び小規模保育事業に移行 ●病児・病後児保育事業を実施(7施設) ●認可外保育施設への立入調査の実施(年1回以上) ●保育士資格等を有しないベビーシッター等へ子育て支援員研修を2回実施(受講者:40人)	4,173,839	3,365,005	3	P20
10	20102060	幼児教育推進事業	補助・助成金	幼稚園等への支援、一時預かり事業の拡充、認定こども園への移行等により、子育てをしている保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりを進めるとともに質の高い幼児教育の推進を図ります。	●私学助成を受ける幼稚園在園者への補助を実施(支給人数:10,755人) ●幼稚園型一時預かり事業を拡充(51園) ●幼稚園(3園)を認定こども園に移行 ●幼児教育相談員による巡回相談を実施(10園) ●幼稚園類似施設在園者への補助を実施(支給人数:164人)	8,664,872	8,364,196	3	P22
11	20102070	保育士確保対策事業	イベント等	保育受入枠の拡大に合わせ、さまざまな手法による保育士確保対策を推進するとともに、保育所職員に必要な専門的知識・技術の習得のための研修等を実施します。	●就職相談会、リモート見学会、保育士試験対策講座等(参加者3,107人)を実施。求人事業者と求職者とのマッチングを実施(4,921件) ●保育士試験対策講座を年2事業実施 ●保育士宿舎借り上げ支援事業を実施(補助対象者数:2,102人) ●1都1県12校・47人(継続利用者を含め98人)が修学資金貸付を利用。就職準備金貸付は48人が利用	1,360,266	1,236,796	3	P24
12	20102080	保育料対策事業	その他	納付者に対して多様な納付手段を提供するほか、滞納世帯に対し、納付指導、催告等を確実に実行しながら、債権対策を推進します。	●保育料滞納世帯に対し、電話による納付指導や長期滞納者には滞納処分を実施(収入率:99.53%※見込 ※目標99.56%)	52,922	70,328	3	P27
13	20103010	妊婦・乳幼児健康診査事業	補助・助成金	妊娠出産を安全に迎えるため、母子の健康状態を確認するとともに、乳幼児の発育状況、疾病等の予防や早期発見など、出産後の乳幼児のすこやかな成長発達を支えることで、安心して子育てができるよう支援します。	●妊婦健康診査の費用の助成(助成件数R5:140,235件) ●乳幼児健康診査の実施(受診者数R5:54,599人) ●健診未受診者に対し、電話や訪問による受診勧奨を実施	1,488,163	1,372,583	3	P29
14	20103020	母子保健指導・相談事業	補助・助成金	妊娠・出産・育児に関する相談支援や情報提供を充実させることで、親と子がすこやかに暮らせる環境となるよう母性の育成や乳幼児の健康保持・増進を図ります。	●新生児訪問、こんにちは赤ちゃん訪問を実施(実施率R5:99.2%) ●学校保健と連携し健康教育を実施(参加者数R5:6,737人) ●土日やオンラインによる両親学級の実施(受講者数R5:6,575人) ●産後ケア事業の実施(利用回数R5:2,504回)	1,903,124	1,786,051	2	P32

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
15	20103030	青少年活動推進事業	イベント等	地域社会全体で、子ども・若者を見守り支え、安全・安心な環境の中で青少年の健全な育成を図るため、青少年を育成・指導する青少年関係団体を支援するとともに、次代の担い手となる自立した成人を育成するため、積極的な社会参加を促進します。	●青少年団体の活動を支援 ●青少年の健全な育成環境推進協議会の開催のほか、広報啓発活動の実施、こども110番事業情報交換会を開催 ●二十歳を祝うつどい(協力運営ボランティア133人)、青少年フェスティバル(協力運営ボランティア190人※目標165人)について、安全対策の強化を図りながら実施 ●各区青少年指導員連絡協議会と連携し、青少年指導員活動への支援を実施	40,194	40,069	3	P35
16	20103040	こども文化センター運営事業	施設の管理・運営	子どもの居場所を確保し、多世代との交流の中で、多様な体験や活動を通じた健全育成を推進するとともに、地域団体等の活動拠点としての場を提供し、地域における人材の育成や活動を支援します。	●放課後等の子どもの居場所づくりに向け、小中学生及びその保護者を対象に放課後の過ごし方に関するアンケートを実施。 ●小学生や関係団体と意見交換を実施し、把握した傾向やニーズを踏まえ、小学校等で試行的な居場所づくりの取組である「お試しDAY」を実施。 ●学校、高齢者施設、地域団体等との連携による多世代交流をはじめとした地域交流を促進(利用人数: R4年度: 1,315,384人 R5年度: 1,613,112人※目標1,490,000人) ●外壁補修、屋上防水工事等、施設の計画的な維持・補修の実施 ●老人いこいの家との連携強化により、多世代交流の促進に向けた取組を実施	4,121,127	3,942,013	3	P37
17	20103050	わくわくプラザ事業	施設の管理・運営	すべての小学生を対象に、学校や地域との連携を図りながら、放課後等に児童が安全・安心に過ごせる場づくりを進めます。	●リモートによる交流イベントなど新しい生活様式を踏まえた事業実施(わくわくプラザの登録率: R4年度34% R5年度41%※目標50%) ●学校の長期休業日等の平日朝の開室時間を8時30分から8時への対応を継続して実施 ●プラザ室の計画的な維持・補修 ●市立小学校114校で子育て支援・わくわくプラザ事業を実施	69,109	80,040	4	P39
18	20103060	青少年教育施設の管理運営事業	施設の管理・運営	団体宿泊生活や野外活動を通じて心身ともに青少年の健全な育成を図るとともに、子どもの遊び、活動の促進に向けた場を提供します。	●ハケ岳少年自然の家で団体宿泊訓練等を実施(R4年度: 86,268人、R5年度: 90,246人)※目標96,000人以上) ●黒川青少年野外活動センターで野外自然観察活動等を実施(R4年度: 13,133人、R5年度: 15,851人)※目標31,000人以上) ●子ども夢パークで子どもの自発的な活動の支援及び子どもを対象とした各種イベント等を実施(R4年度: 68,309人、R5年度: 72,052人※目標92,000人以上) ●青少年の家で団体宿泊研修等を実施(R4年度: 26,831人、R5年度: 34,347人)※目標34,000人以上)	466,125	462,889	4	P41
19	20104010	児童虐待防止対策事業	その他	児童虐待に的確に対応するとともに、子育て家庭等の課題に対する早期把握・対応、重篤化への未然防止等に向け、多様な支援ニーズを把握し、地域の関係機関と連携しながら、支援が必要な子育て家庭等に対する個別・専門的な支援に取り組むなど、児童家庭相談支援体制の強化を図ります。また、児童虐待防止に関する相談や普及啓発活動を行います。	●各区地域みまもり支援センター地域支援課・各地区健康福祉ステーションに社会福祉職を増員し、児童虐待予防のための専門的支援を実施 ●各区要保護児童対策地域協議会(個別支援会議)を実施(986回) ●児童虐待防止センターでの電話相談を実施(相談件数: 2,737件) ●11月の児童虐待防止月間を中心に、児童虐待防止普及啓発活動を実施(36回) ●子育て短期利用事業における多胎児・多子世帯の利用料の減免を実施	219,177	216,608	3	P43
20	20104020	児童相談所運営事業	その他	増加する児童虐待や複雑・困難化する児童相談に対し、専門性を活かした相談援助を行うとともに、支援が必要な児童の一時保護、里親・施設入所措置等を行います。	●子ども及び家庭への相談・援助を実施 ●児童心理司等の増員など児童相談所体制を充実 ●中部児童相談所の改築に向けた、既存相談所の解体工事、一時保護所の新築工事を実施	1,806,480	1,723,460	3	P45

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
21	20104030	里親制度推進事業	その他	家庭での養育が困難な児童を家庭と同様の環境で養育するため、里親制度の普及啓発や里親登録者数の増加、里親支援機関と連携した里親への養育支援等、里親制度の推進を図ります。	●フォスタリング機関を中心に包括的な里親支援を実施 ●説明会等による里親制度の普及・啓発活動を目標11回に対し13回実施 ●里親養育技術向上のための研修会等を目標3回に対し16回実施 ●家庭の雰囲気体験するためのふるさと里親事業を実施(登録者数は目標値92世帯に対し82世帯)。高齢化等に伴う辞退者増のため目標値を下回っているが、新規登録者数は増加	93,274	86,681	3	P47
22	20104040	児童養護施設等運営事業	その他	児童養護施設等における要保護児童の処遇向上に向け、良好な家庭の環境での養育の推進を図るとともに、児童養護施設退所者等の自立支援を推進します。	●乳児院、児童養護施設等における施設の高機能化・多機能化を図るため職員配置の拡充等処遇改善面を充実 ●施設等に対し適宜指導を行い、社会的養育を推進 ●学習支援や就労支援を実施し、自立支援を充実	4,196,232	4,018,973	3	P49
23	20104050	ひとり親家庭等の総合的支援事業	補助・助成金	ひとり親家庭等に対して、経済的支援をはじめ、子育て・生活支援、養育費確保、就業支援などを実施します。また、必要な情報が的確に届くよう、実用的な情報を能動的に発信するとともに、関係機関と連携しながら課題を抱えた家庭に効果的な相談支援を実施するなど、ひとり親家庭等への総合的な支援を推進します。	●児童扶養手当を適正に支給(対象者:5,221世帯) ●ひとり親家庭等に対し医療費の一部を助成(対象家庭:12,125人) ●日常生活支援事業による家事・育児等の支援を実施(支援員派遣:延べ479件) ●ひとり親家庭等の子どもの将来の自立に向けた学習や居場所等の支援として、学習支援・居場所づくり事業を小学3年生から中学3年生までを対象に全17か所において実施。 ●養育費確保に関する支援として、「公正証書」「調停調書」等の作成において負担した費用の補助を実施(交付件数:54件) ●母子・父子福祉センターで各種就労支援を実施(支援により就労につながった割合85.9%※目標75%以上) ●資格取得等を目指すひとり親家庭の親に対し高等職業訓練促進給付金の新規決定を25件、自立支援教育訓練給付金の支給決定を14件実施。 ●母子生活支援施設を適切に運営(年度間29世帯入所) ●物価高騰の影響を受け、より困難が生じているひとり親家庭に対する支援として、児童扶養手当受給者等を対象とした子育て世帯生活支援特別給付金を支給(ひとり親世帯分:5,767世帯)	3,817,103	3,756,579	3	P51
24	20104060	女性保護事業	その他	日常生活にさまざまな困難を抱える女性の相談・支援を行うとともに、DV被害者等への支援を自治体間で連携しながら取り組みます。	●女性相談員による相談・保護・自立支援を実施(相談件数2,242件) ●DV被害者等への相談・支援を実施(相談件数878件) ●DV被害者等の緊急一時保護を実施 ●様々な媒体を通じた相談窓口の周知 ●女性相談員の処遇改善、職の設置の見直しを実施	61,408	60,661	3	P53
25	20104070	子ども・若者支援推進事業	その他	子どもの貧困対策の視点から、さまざまな分野が連携した総合的な子ども・若者への支援を推進するとともに、地域社会全体で、子ども・若者を見守り、支える取組を支援します。	●「かわさきサポートブック」を作成 ●「こどもサポート小田」及び「こどもサポート旭町」を実施(登録:小田37人、旭町45人) ●地域子ども・子育て活動支援助成事業を継続実施(交付決定:20団体) ●地域社会全体で要支援家庭を支える体制づくりについて、川崎区においてモデル事業を実施 ●大学生等のボランティアを活用した不登校・ひきこもりへの支援を実施(個別支援活動参加者:148人※目標95人、集団支援活動参加者:97人※目標82人)	56,728	41,263	3	P55

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
26	50201040	子どもの権利施策推進事業	その他	子どもが自分らしく育ち、学び、生活していくため、子どもの権利が尊重され保障されるよう、子どもの権利の理解を広める取組や子どもを権利侵害から守る取組を推進します。	●第6次行動計画の評価、第7次行動計画に基づく取組の推進 ●市内3か所で市民参加のワークショップを行い、その内容を反映させた子どもの権利啓発資料を作成。(20,000部) ●条例の解説パンフレット等の広報資料作成、「かわさき子どもページ」のリニューアル等の取組を通して、様々な世代に向けた広報及び意識普及を実施(広報資料配布部数:269,643部) ●子どもや子どもに関わる職員等を対象とした研修・学習会等に講師として派遣(研修等参加者:5,650人)	15,881	13,542	3	P63

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁	
						予算額	決算額 (見込)			
1	10101070	本庁舎等運営事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の 中核拠点としての耐震性を確保す るため、建替えの取組を進めます。	●令和5年10月に新しい本庁舎の供用を開 始(令和4年度に完成予定だったところ、新型 コロナウイルス感染拡大の影響により遅れた もの) ●第2庁舎解体・跡地広場整備工事の推進	2,882,496	22,190,598	4	P●●	①「政策体系別計画に記載 のある事務事業」及び「施策 を推進する経常的な事務事 業の中でも特に重要なもの や進捗に遅れのあるもの」を掲 載
2	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上や 地域経済の活性化を図るため、かわ さきWi-Fiの運用を行うとともに、地域 情報の効果的な発信を図ります。公 共データを市民サービスやビジネス につなげるため、オープンデータの 公開を進め、その効果的な活用を 推進します。	●かわさきWi-Fiの新たな導入、及び出張 所へのアクセスポイントの増設 ●川崎市LINE公式アカウントとかわさきデ ザリを活用した情報発信(川崎市LINE公式ア カウント登録者数:目標50,000人、実績 49,896人) ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業 者等登録数:目標400団体、実績392団体) ●更なるオープンデータの公開(公開データ セット数:目標400件、実績404件)(公開デ ータの月平均ダウンロード数:目標6,500件、実 績6,917件)	25,113	28,725	3	P●●	②市民サービス等の分類を 記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立 ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他
3	40205020	行政情報化推進事業	その他	「川崎市デジタル・トランスフォー メーション(DX)推進プラン」に基 づく情報関連施策の進捗管理を進め るとともに、マイナンバー制度の効 率的・効果的な運用を図ります。	●他の自治体等とのマイナンバーによる情報 連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナポイント支援窓口 の設置及び健康保険証利用の登録作業の実 施(マイナポイント申込等の支援件数:実績 44,645件) ●「川崎市デジタル・トランスフォーメーション DX」推進プランに基づく取組の進捗管理の 実施及びプログラムの改定 ●ワークスタイル変革に向けたテレワークの 更なる推進や本庁舎建替えに伴う無線LAN 環境の整備・市役所電話のスマートフォン化の 実施及びRPA等の活用による業務プロセス 改革を推進(AIやRPAを導入した業務の件数 (累計):実績50件) ●NPO法人と連携したスマホ教室等の実施 (実施回数:28回)	289,816	225,987	3	P●●	③事務事業の概要を記載
4	40205030	デジタル化推進事業	その他	スマートフォンなどから24時間申請 が可能な電子申請システムの構築・ 運用や、市民ニーズが高い施設・窓 口等でのキャッシュレス決済の導入 を推進するなど、デジタル技術を活 かして利便性の高い行政サービスを 提供します。	●電子申請システム「オンライン手続かわ さき(e-KAWASAKI)」の安定的な運用(電子申 請システムの利用件数:目標500,000件、実 績519,451件) ●国の環境整備等による、オンライン化に課 題のある手続のオンライン化の実施(オンラ イン申請が可能な手続数:実績2,734手続) ●キャッシュレス決済可能な窓口等の拡大に よる利便性の向上(施設・窓口数:目標54、 実績62、決済比率:目標20%、実績14.6%)	81,844	65,635	3	P●●	④令和5年度に実施した主な 取組の実績を定量的な数字 を含めて記載
5	40901005	市制100周年記念事業	参加・協 働の場	本市が、令和6(2024)年に市制施 行100周年を迎えることから、本市の さまざまな魅力、ポテンシャルを市 内外にアピールする機会と捉え、各種 事業や情報発信等を展開します。	●オール川崎市の推進体制である実行委員 会の運営(参画団体数:383団体) ●市制100周年に向けたPRの実施 市内主要駅におけるシティレッシング、PR動 画や広報冊子の作成等 ●市制100周年記念イベントの実施 「Colors.FUTURESummit2023」、「みんなの川 崎祭」等	166,965	170,962	2	P●●	⑤令和5年度の予算額及び 決算額(見込)を記載
6	40901010	シティプロモーション 推進事業	その他	戦略的な情報発信等により、市民の シビックプライドの醸成及び対外的 な都市イメージの向上を図ります。	●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅 力発信 ●X、Instagramや動画等を活用した情報発 信 ●民間企業等との連携によるプロモーション の推進 ●「かわさきスペシャルサポーター」事業 SNSによる情報発信、広報誌出演、コラボ事 業の実施 ●ブランドメッセージの理念であり川崎の価 値である「多様性」をより多くの市民に共感 をもって受け止めてもらうための、川崎ゆかりの 著名人が詠んだ「5・7・5作品」を収録したデジ タル絵本の公開と、川崎への思いを広く市民 から募集する市民参加型企画「かわさきいろ いる5・7・5」の実施及び入賞作品を収録した デジタル絵本の公開	45,543	44,704	4	P●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	40901020	国際交流推進事業	イベント 等	海外からの視察受入れや(公財)国 際交流協会との連携により、行政 だけでなく市民による国際交流を推進 します。	●川崎市長をはじめとした訪問団が韓国・富 川市を訪問し、富川世界B-boy大会開幕式・ 大会視察その他市内施設視察を実施 ●ウーロンゴン市との交流について、川崎 ジュニア文化賞実行委員会と連携し、大賞受 賞者と、ウーロンゴン市副市長とのオンライン 交流会を実施 ●ラテンアメリカ及びカリブ海諸国グループ所 属の大使等が川崎港を訪問し、川崎市長との 意見交換及び川崎港・川崎マリエン視察を実 施	36,886	26,106	3	P●●	⑦参考資料における当該事 務事業の評価シートの掲載 ページを記載